

官邸前で「再稼働反対」 河江候補らも

毎週金曜日に首相官邸前で「原発やめろ」と訴える抗議行動に6日、河江明美衆院比例候補が、政府交渉に参加した愛知の小選挙区候補やもとむら伸子参院愛知選挙区候補らと参加しました。

午後6時からの集会にもかかわらず、5時半には多くの人が集まっていました。



河江候補らは最初、歩道にいましたが、だんだん人が多くなって一部開放された車道へ。車道が開放されると自然と「うおーっ！」と歓声があがり、そこにもみるみるうちに人の列ができました。

参加者は、「再稼働、反対っ」「再稼働、反対っ」と太鼓やタンバリンをたたき、笛を鳴らしながらリズムよく声をあげました。「紫陽花革命」の名にちなみ、アジサイを手にしている人もいました。上空をヘリが何台も飛び、だんだん雨

が強くなり、濡れながらの集会にも「再稼働許さない」「あきらめないぞ」と多くの人が高まる一方でした。

名古屋市内でも

名古屋市東区にある関西電力東海支社前の抗議行動にも雨にもかかわらず、先週を上回る人数が参加し、「再稼働反対」「未来を守れ」とアピールしました。わしの恵子市議も先週に続いて横断幕を掲げて参加しました。

介護保険改善などで政府交渉

党愛知県委員会が佐々木議員と

党愛知県委員会は6日、県民の要求を集めて政府交渉を行い、佐々木憲昭衆院議員が同席しました。

4月から新たな介護サービス体制になったことをうけ、県委員会



が介護事業所などにアンケートを実施。寄せられた声をもとに、国民負担軽減の具体策、介護職員の待遇改

党勢拡大「特別期間」に全力 河江候補・三重で

河江明美衆院比例候補は党勢拡大「特別期間」の活動で各地の集いで入党を訴えています。1日は三重県津市の白塚支部の集いで岡野恵美1区候補、豊田光治市議と訴えました。

医療生協のつながりで2ヶ月前に「赤旗」日曜版を購読した男性が参加し、宮城・石巻市の新入党者のDVDを視聴して入党を呼びかけると、医療生協でお世話になった、共産党の力になりたいと入党しました。

党中部地区委員会は7月に入り、津市で3名の入党者を迎えています。

4日は元教員の男性が入党。この間、党の演説会や支部の集いに参加していましたが、一度党を離れた方で、「いまさら」と断っていました。しかし、地区委員の党员が男性の職場に足を運び、熱心に説得するなかで入党しました。

5日は20歳の大学生が入党しました。民青同盟員で昨年中原水禁世界大会に参加し、感動的な決意を述べていましたが、入党には至りませんでした。この間の情勢の変化や津市の原発反対集会に参加し、青年担当の地区委員や民青幹部の党员、大嶽党県委員長が訴えて決意しました。

善、サービス利用の改善、地域包括支援センターの充実などを求めました。

河江明美衆院比例候補、もとむら伸子参院愛知選挙区候補、小選挙区の大野ひろみつ(1区)、黒田二郎(2区)、石川ひさし(3区)、西田とし子(4区)、藤井ひろき(5区)、柳沢けさみ(6区)、郷うこん修(7区)、長友ただひろ(8区)、松崎省三(9区)、いたくら正文(10区)、高林誠(13区)の各候補と根本美春豊田市議らが参加しました。ほかに、居所不明小中学生の実態調査と救援・支援、設楽ダムが計画される豊川水系の水需要の問題などを要請しました。